

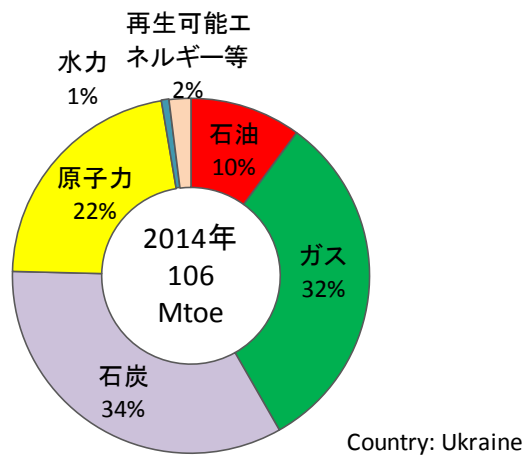
## 2-20 ウクライナ

### 1. サマリー

#### 1. エネルギー事情

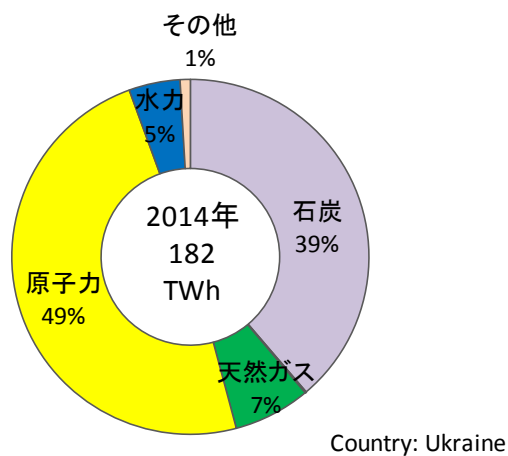
- (1) 一次エネルギー供給量：106 百万 toe（日本の 24%）
- (2) 一人当たり一次エネルギー供給量：2.33toe（日本の 67%）
- (3) エネルギー自給率：73%
- (4) エネルギー起源 CO<sub>2</sub> 排出量：236.5 百万 CO<sub>2</sub> 換算 ton（日本の 19.9%）
- (5) 一人当たりエネルギー起源 CO<sub>2</sub> 排出量：5.21CO<sub>2</sub> 換算 ton（日本の 55.8%）
- (6) エネルギー源別可採年数（2015 年末）：天然ガス 34.7 年、石炭 891 年以上

一次エネルギー供給構成（2014 年）



(出所) World Energy Balances 2016, IEA

発電電力量構成（2014 年）



(出所) World Energy Balances 2016, IEA

## 2. エネルギー政策のポイント

### (1) エネルギー政策担当機関

- エネルギー・石炭産業省がエネルギー政策全般を担当。環境・天然資源省は環境保護、天然資源の利用、原子力・放射能に関する安全性等を担当。農業政策省はバイオ燃料を担当する。

### (2) 基本政策

- エネルギー自給率の向上（対ロシア原油・ガス輸入依存度の低減）が最大の課題。ウクライナ政府もエネルギー源の多様化、エネルギー供給源および供給ルートの多様化、省エネ、国内開発などの対策の必要性を認識。
- 2015年1月、政府は2035年までのエネルギー戦略草案を発表。これは現在の安全保障に対する脅威やEUとの市場統合を考慮に入れて、2030年までの戦略を更新するもの。

### (3) 最近の動向

- 2015年2月、ロシアのPutin大統領は、ウクライナ問題をめぐりロシア・フランス・ドイツ・ウクライナの4首脳が同月15日からの停戦で合意したことを明らかにした。しかし、ウクライナ東部地域での散発的な武力衝突は続いている。
- 2015年2月から3月にかけて、ウクライナのエネルギー規制機関（NKREKP）は家庭用の電力、熱、天然ガス料金的大幅な値上げを発表。2015年から2017年までの3年間で、供給コストを回収可能な水準まで各料金を段階的に引き上げる方針だったが、当初計画よりも遅れている模様。
- 2016年4月、ウクライナ最高会議がGroysman新内閣閣僚を任命した。ウクライナの新首相はGroysman Volodymyr氏、エネルギー・石炭産業相はNasalyk Ihor氏、環境・天然資源相はSemerak Ostap氏、農業政策相はKutovy Taras氏。今回の首相交代はYatsenyuk首相の辞任を受けた動き。
- 2016年8月、Energoatomは韓国水力・原子力会社（KHNP）との協力でKhmelnetsky原子力発電所3、4号機を完成させると発表。両国における原子力部門の協力関係と、持続可能な社会経済的な発展の促進を目的とした了解覚書を締結した

## 3. 日本とのエネルギー分野における関係

- 2015年2月、日本・ウクライナ両国政府は日・ウクライナ投資協定を署名。本協定により日本企業の投資活動の円滑化、二国間経済関係の強化に繋がることが期待される。
- 2015年6月、安倍首相が日本の首相として初めてウクライナを訪問し、Poroshenko大統領らと会談。同大統領からは、日本の、特に石炭火力発電技術の導入意欲が示された。
- 2016年12月、日ウクライナサイバー協議をKyivにて開催。

## 2. 主要エネルギー指標

COUNTRY: Ukraine

(2014年)

(1) 一次エネルギー供給量		106 Mtoe
(2) 一人当たりの一次エネルギー供給		2.33 toe/人
(3) GDP当たりの一次エネルギー供給		0.79 toe/千ドル
(4) エネルギー自給率		73 %
(5) エネルギー起源CO <sub>2</sub> 排出量		236.5 百万CO <sub>2</sub> 換算ton
(6) 一人当たりエネルギー起源CO <sub>2</sub> 排出量		5.21 CO <sub>2</sub> 換算ton/人
(7) エネルギー源別構成率	石炭	34 %
	石油	10 %
	天然ガス	10 %
	原子力	22 %
	水力	1 %
	再生可能エネルギー等	2 %
(8) エネルギーの輸入依存度		27 %
(9) 石油の輸入依存度		74 %
(10) 輸入原油の中東依存度		- %
(11) 天然ガスの輸入先	第1位	ロシア
	第2位	ドイツ
	第3位	ハンガリー

(出所) (1)～(4)および(7)～(9) : World Energy Balances 2016, IEA

(5)～(6) : CO<sub>2</sub> Emissions from Fuel Combustion 2016, IEA

(10)～(11) : Natural Gas Information 2016, IEA